

## 令和2年度 授業改善推進プラン 中学年

	令和元年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国 語	<p>○互いの考えの相違点や共通点を考えながら話したり、聞いたりする活動を、学級会や様々な教科等につながる指導を行ったことで、「話す・聞く」の意欲向上が図られた。また、技能としても、昨年度よりも19ポイント上がっていることから高まっていることがわかる。</p> <p>○自分の意見とその理由を区別して書いたり、構成を考えながら書いたりする力が昨年度よりも20ポイント以上上がり、文章を書く力が高まった。</p> <p>△漢字を正しく読んだり書いたりする力が全体的に高まっているが、一部の児童の定着に課題が残る。</p>	<p>○「聞く・話す」能力をさらに高めるために、環境作りや聞く態度の育成に取り組み、意欲的に話すことができる場を意図的に設定する。</p> <p>○「書く」活動を積極的に取り入れ、自分の思いや考えを明確にして具体的に書き表すことができるよう普段の振り返りや感想文などで練習させる。書く手順や良い書き表し方を提示し、語彙力が増える工夫をする。</p> <p>△漢字の定着のため、ゲーム感覚で漢字練習をしたり、テスト範囲を事前に示した小テストを行ったりすることで、意欲的に学習する態度を育て学力向上へ繋げる。</p>
社 会	<p>○地図記号、消防署や警察署の仕事内容や災害発生時の協力体制などについて、正しく理解する問題についての正答率が高まった。</p> <p>○学校の周りや区の様子、買い物調べや地域の工場の様子などの写真や絵地図、グラフなどの資料を正しく読み取る力が、昨年度よりも5ポイント以上上がり、資料活用の技能が高まった。</p> <p>△知識や資料をもとにして考察したり、複数の情報を合わせて自分の考えをもち、適切に表現したりする力を高めていくことが課題である。</p>	<p>○都道府県や地図記号については、ビンゴやカルタなどの、楽しく覚えられるような教材を用いたり、慣れ親しむ場を設定したりして、より一層の定着を図る。</p> <p>○集団での見学が難しいときには、ICTを活用したり教員が取材した材料をもとにしたりすることで、課題を「自分事」にさせ、児童自らが学習問題を立て、主体的に問題解決できるように教材との出会わせ方を工夫していく。</p> <p>△資料を読み取る力が高まったため、読み取ったことを表現させる活動を多く取り入れていく。また、授業の終わりに、その時間に分かったことについて自分の考えを書く時間を作り、考察し、表現する機会を増やしていく。</p>
算 数	<p>○簡単な計算や数の小数や分数の計算などの処理ができる児童の割合が高い。</p> <p>○□を使った式や時刻と時間に関する問題への正答率が高い。</p> <p>△2けた以上のかけ算や、あまりのあるわり算の正答率が低い。また、数が大きくなったり、3つの数の混合式のような手順が多い計算になったりすると正答率が下がる。</p> <p>△長さや重さの問題の知識・理解面に課題がある。</p> <p>△図形の特長を理解したり、図を見て同じように作図したりすることに課題がある。</p>	<p>○計算が正しくできる児童が多いので、さらに速く正確にできるように、反復練習をする。</p> <p>○文章題の問題を理解しやすいように図・絵・表などの工夫を取り入れ、具体的に問題の内容を把握できるようにする。</p> <p>△ステップ学習の時間等、短時間で集中してたくさんの計算問題を解く活動を積極的に取り入れ、計算力の向上を図る。手順を掲示したり、自分の考えを説明し合う活動を取り入れたりとすることで、計算の順序を理解させ、定着を図る。</p> <p>△大きな単位を理解できるように計測したり体験したりする活動を多く取り入れる。学校生活で経験できるような環境づくりをしていく。</p> <p>△ICT機器を活用して図形の特徴を視覚的に捉えさせ、図形についての見方や感覚を豊かにする。</p>
理 科	<p>○温度計や虫眼鏡の使い方、観察記録に書くべきこと、太陽を観察するときの注意など、観察したり、実験したりする技能を問う問題の正答率が高く、3年生の学習内容では昨年度よりも13.1ポイント高まった。</p> <p>△3年生の学習内容では、昆虫の体のつくりや植物の育ち方、光の性質についての理解を確実にすることが課題である。</p> <p>△4年生の学習内容では、3年生では高かった観察や実験の技能に関する問題の正答率が低いため、正しい方法での観察や実験をさせる機会を増やしていくことが課題である。</p>	<p>○実験や観察のポイントについては、引き続き丁寧に指導するとともに、一人一人が自分の手を動かして確かめられるよう、教材準備の工夫をしていく。</p> <p>△動植物を観察する機会を多く設定し、生き物に直接触れさせたり、ICT教材を活用して生き物の神秘的に気付いたりすることで、自然事象に関する関心を高め、知識の定着を図る。</p> <p>△より科学的な思考力をともなう学習内容になるにつれて、直接見たり触ったりする機会が減り、観察や実験の技能が十分に育っていないと考えられる。3年生と同様に、一人一人が自分の手を動かして確かめられるようにするとともに、観察や実験の機会を増やしていく。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体 育</p>	<p>○運動に対する意欲は高く、進んで運動に取り組んだり自己のめあてに向かって努力したりする児童が多い。</p> <p>○学習カードに記録することにより、努力の成果を認識できた。</p> <p>△自分の課題を見付け、それを解決するための練習方法を考えたり、練習の場を選んだりすることが難しい。</p> <p>△友達と教え合ったり、見合ったりするときのアドバイスの仕方が身に付いていない。</p> <p>△運動する機会が減ったことから、持久力の低下や全身を使った運動に課題がある。</p>	<p>○児童の実態に応じて、規則や場の設定を工夫し、児童が自ら課題を見付け、解決していけるように計画を立てる。</p> <p>○学習を振り返り、気付いたことや考えたことなどを友達と交流し、深める時間を設ける。</p> <p>△学習カードや掲示物等を活用し、自分に合うめあてをもたせたり、技能ポイントを理解させたりする。</p> <p>△掲示物やワークシート等で技能習得へのステップが視覚的に分かるようにして、友達と教え合ったり、見合ったりする。またICTを活用して試技を撮影したものをみて、アドバイスし合う活動を取り入れる。</p> <p>△家庭でもできる運動を積極的に取り入れ、日常生活の中で運動の機会が増えるように働きかける。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">音 楽</p>	<p>○音楽活動に意欲的に取り組もうとする児童が多い。</p> <p>△速さを一定に保ちながら音を合わせることに課題がある。</p> <p>△音楽から感じ取ったことを、音楽の仕組みや要素を根拠にして考えたり表現したりする力に課題がある。</p>	<p>○児童がこれから学ぶ音楽に興味や関心を持てるように、音楽の良さや楽しさを共有する機会を意識的につくる。</p> <p>△コール&amp;レスポンスのリズム活動や、基本的な音の長さを叩くリズム遊びを通し、拍感をもちながら音楽を感じ取る基礎力を向上させる。</p> <p>△音楽の聴き方や感じ方に型を作り、既習曲での音楽の仕組みや要素をあわせて振り返ることで、音楽の聴き方や感じ方を表現しやすくする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図 工</p>	<p>○全体的に造形活動に意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○表したいことに合わせて用具を適切に使い、材料の特徴を生かす力が育まれている。</p> <p>△感じたことや想像したことから、自分なりに表したいことを見付けるまでに、時間がかかる傾向にある児童が増えている。</p> <p>△造形活動では、一人一人が自分の活動に自信をもち、思うままに活動を進めていくことができる力を、さらに育てていく。</p>	<p>○児童が興味をもつような題材設定を工夫し、自己表現する喜びや達成感を味わわせる。</p> <p>○様々な材料や道具に触れる機会を持ち、形を変えたり組み合わせたりするよさや面白さを味わわせる。用具を適切に使いこなせるよう、児童が理解しやすいように、ICT機器を使いながらポイントを明確にして、見せる。また、机間指導しながら個別に支援する。</p> <p>△授業の前半で、参考になる児童の活動を積極的に紹介して、全体で共有できるような場をつくる。また、個の状況を把握し、声掛けを丁寧に行う。</p> <p>△黒板に、授業の大まかな流れを書き、児童が確かめられるようにする。児童に指示する内容を精選し、説明を短くすることで、児童自らが考える時間を、十分にとる。</p>